



朝日連峰登山道の鶴岡側「吊り橋復旧工事にかかる緊急要請書」を県知事に手交!!(県議会6月補正予算可決)

明るい未来の創造に向けて

山形県議会議員(鶴岡市選挙区) 県政レポート No.13

山形県議会議員 **高橋 淳** じゅん(無所属/県政クラブ)

<高橋淳事務所> 発行日:令和4年6月22日
〒999-7601 鶴岡市藤島字古楯跡 100-1
TEL:0235-26-8731/FAX:0235-26-8732
Mail:takahashi.jun.kouenkai@gmail.com

<県議会/県政クラブ執務室>
TEL:023-630-3211(4階)

<県議会/所属委員>

- 厚生環境常任委員会(委員)、予算特別委員会(委員)
- 新型コロナウイルス感染症対策特別委員会(委員)
- デジタル化・脱炭素社会対策特別委員会(委員長) 他

▶県議会6月定例会閉会!一般会計補正予算など17議案可決! 請願1件採択!

☞総額54億2,400万円!!コロナ禍における原油価格・物価高騰等への対応など!

6月21日に山形県議会6月定例会が閉会致しました。今回の補正予算は、コロナ禍において原油価格・物価高騰の影響が出ている中、厳しい環境に置かれる県民の皆さまや中小企業者・農林水産事業者などに対する支援を盛り込んだほか、引き続きコロナ対策を拡充するなど、本県が直面する様々な課題へ対応するために編成された内容です。

また、新型コロナの新規感染者数が依然として収束に至っていない状況を踏まえ、従業員数の少ない小規模事業者への抗原検査キット活用を支援するほか、保健所の体制整備、そして、**登山者の安全対策として、破損が判明した自然公園施設の吊橋の緊急修繕**であります。

今定例会での補正予算総額は54億2,400万円、補正後累計予算額は6,902億2,800万円です。

▶令和4年度水田活用の直接支払交付金の見直しに関する意見書提出!(請願)

新型コロナ感染拡大に伴う業務用米の需要低迷等が生産農家の経営に多大な影響を及ぼしている中、国から令和4年度水田活用の直接支払交付金の見直しが示されました。

国の作付転換の方針に基づき、多様な水田機能を維持し、地域の水田農業の持続的な発展と食料自給率向上のためには、**安定的な財源確保と生産現場の実情を十分踏まえた支援が重要です**。今定例会で、交付対象の水田を畑地化した場合、畑作物の直接支払交付金の拡充などで対応を求める請願1件を採択し、政府への意見書提出の発議を可決いたしました。

▶山形県におけるコロナ禍における原油価格・物価高騰等への対応支援について(主なもの)

①産業支援(3,655百万円)

○中小企業・小規模事業者

☞原油価格・物価高騰の影響を受ける事業者に対する緊急支援給付金(法人10万円、個人事業主5万円、4~6月のいずれかの月の売上が令和元年~3年のいずれかの年の同月比で30%以上減少)

○運輸業

☞運送事業者の燃油価格高騰への支援(燃油高騰分の一定割合を支援:トラック6万円/台)
☞地域の移動手段確保のための地域交通事業への支援(燃料高騰分及び車両維持費の一定割合を支援:①乗合バス20万円/台、②貸切バス10万円/台、③タクシー5万円/台)

○農林水産業

☞漁業者の燃油価格・資材価格高騰への支援
☞畜産農家の配合飼料価格高騰への支援、きのこ生産者の資材価格高騰へ支援(出荷用資材の価格高騰分を助成)
☞野菜・花き用ハウスの再整備への支援 他

②生活支援(891百万円)

○生活困窮者等

☞低所得者の子育て世帯への生活支援特別給付金の支給(児童1人当たり5万円)
☞生活福祉資金(特例貸付)を借り終えた世帯に対する新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金の給付(6月末から8月末へ申請期限延長)
☞生活困窮者、低所得の子育て世帯への県産米の提供
☞県内外の高等教育機関の学生に対する県産米の提供他

○学校給食

☞学校給食における県産水産物の無償提供
☞県立学校においてこれまでどおりの栄養バランスや量を保った給食が実施されるよう食材購入費を支援

▶「山の日」全国大会! 北海道・東北初!!

「山を想い、山を愛し、山と生きる。～樹氷輝く蔵王のやまがたから、未来へ～」

北海道・東北地方では初となる、第6回「山の日」全国大会が、8月10日と11日、蔵王を主会場に、「山を想い、山を愛し、山と生きる。～樹氷輝く蔵王のやまがたから、未来へ～」をテーマに開催されます。

この大会を契機として、地域の宝である山の豊かさや自然環境保全の取組みの必要性を再認識し、身近な山に一層愛着を深めていただきたいと思います。

▶新型コロナウイルス関連について

(国内及び県内の感染状況等)

世界の新型コロナの感染者数は5億人を超えました。増加のペースはやや落ちてきているものの、依然としてパンデミックの収束は見通せない状況です。国内では、3月21日に全ての都道府県でまん延防止等重点措置が解除されましたが、BA.2系統への置き換わりが急速に進み、高止まりが続いておりましたが、県内では、ようやく2桁台の感染者数となったものの、依然として収束には至らない状況です。

引き続き、最大限の警戒をしながら、可能な限り日常生活を取り戻す取り組みを継続して参ります。

(新型コロナワクチン接種)

県内のワクチン接種については、市町村のご努力もあり、**全年代の3回目接種は直近の値が67.0%で全国第3位と進捗が図られています。**

引き続き若い世代のワクチン接種の促進を図るとともに、今後、高齢者や基礎疾患を有する方への4回目接種も始まっていますので、市町村や関係機関と連携しながら、円滑な接種に向けた取組みを進めてまいります。

(山形県新型コロナ対策認証制度)

認証制度については、令和3年4月26日から開始されて1年が経過しました。認証制度については、我が県政クラブ会派から県知事に政策提案した内容であります。5月31日までに**4,081件を認証**しています。利用される方々の意識の高まりと、飲食店における感染拡大防止効果が図られています。

▶厚生環境常任委員会 6/16.17 開催

以下の内容について提案や質問を行いました。

- 1 脳血管疾患や心疾患の発生状況と傾向について
- 2 医療機関における入院患者への「面会制限」については、新型コロナの感染予防対策と両立して緩和していくべきと考えるが。(山形新聞掲載済み)
- 3 新型コロナの後遺症に係る実態調査の内容と相談・受診体制の構築に向けた今後の取組みについて

○消費喚起

市町村が取り組む消費喚起に資するプレミアム商品券等の発行事業に対する支援の拡充(補助率1/2、上限:市町村人口×500円)

県産木材を使用する一般住宅及び民間施設の構築に対する支援の拡充(補助単価1棟:新築住宅30→40万円、民間施設60→70万円)他

③ウィズコロナ・ポストコロナへの対応(252百万円)

ウィズコロナでの国際チャーター便の受入れ支援

雇用調整助成金の県単独上乗せの延長(対象期間を6月末までに延長、補助率1/20)他

④新型コロナウイルス感染症への対応 591百万円

コロナ重点医療機関における高度医療向け設備の整備に対する助成

県内4地域でのワクチン巡回接種(各地域で2日間実施)

自宅療養者に貸与するパルスオキシメーターの追加購入

高校部活動の県外遠征参加者、国体参加者等に係る抗原検査キットの追加購入

中小企業等において事業継続を判断する際の抗原検査キット活用の支援(感染者が確認された事業者の希望に応じ最大10人×2日分の配布)

保健所における新型コロナ対応業務の効率化(人材派遣サービスの活用)他

⑤その他喫緊の課題への対応 36百万円

農業生産性向上のためのスマート機械導入に対する助成

自然公園の施設の緊急修繕 他

▶県議会レポートあとがき

新型コロナウイルス感染症拡大やウクライナ情勢など、数日前には予測しなかったことが突如発生し、結果として、世界各国の経済を大きく揺さぶっている。

「一寸先は闇」。江戸時代の京いろはかるたに登場する言葉であり、当時の夜は明かりが少なく、一寸(約3cm)先も見えない状況として使われたと言われていました。

今の生活が平和でも、すぐ先の将来は何か起こるかわからないという不安定な世の中を表現したとされます。

今日においても、経済の先行き「不確実性」が各分野に影響を与えており、多くの国難ともいえる課題が山積している中、「地域にチカラ」が必要です!!今の日本の政治は、いったい何処に向かおうとしているのでしょうか。

私たちが描く未来は、便利で活気あふれる魅力的な街、そして、誰もが生き生きと働き、共に暮らす社会です。

いよいよ参議院選挙がスタート。社会課題に真正面から向き合い、「嘘偽りのない」「正直」で「偏らない」「現実的」な政治姿勢を貫く候補者を是非、選んで頂きたいものです。

<参考>

○江戸… 犬も歩けば棒にあたる

○大阪… 一を聞いて十を知る

○京都… 一寸先は闇

○尾張… 一を聞いて十を知る

